

令和8年度までの目標	国語		算数・数学	
	自校A B層の割合	60.0%	自校A B層の割合	60.0%

目標達成に向けた取組			
3つの観点	教員の指導力向上	基礎学力の保障	学習習慣の確立
学校全体の取組	<ul style="list-style-type: none"> 目当ての提示からまとめまでの教科でも学習展開や板書の大きな流れが統一できるように研究をすすめる。 ミライシードを活用した学習活動の研修・実践報告を月1回以上行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 東京ベーシックドリルの診断テストを年6回行う。 東京ベーシックドリル取組週間を学期に1回ずつ実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> 全学級週1回以上はドリルパークを家庭学習で実施させる。 各学年で統一した家庭学習の取組。内容を行わせる。
特に支援が必要な児童・生徒への手立て	<ul style="list-style-type: none"> 個々の児童に合わせた板書計画をたてる。 	<ul style="list-style-type: none"> 子に合った学習量を調整し、確実に行わせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習シールやスタンプ等意欲を掻き立てるような個別の手立てを実践する。
成果指標	<ul style="list-style-type: none"> 児童アンケート「先生たちは分かりやすく指導してくれていますか」「困った時に話を聞いてくれていますか」の肯定的回答9割以上 	<ul style="list-style-type: none"> 東京ベーシックドリルの診断テスト8割達成率全学年8割以上 	<ul style="list-style-type: none"> 児童アンケート「家庭学習の時間を1日30分～60分行えていますか」の肯定的回答9割以上